

第36期富士見市民大学公開講演会

**「平穩死」
のすすめ**

～穏やかに死ぬという選択～

講師：石飛幸三 先生

平成26年
2月1日(土)
14時～16時 開場は30分前
鶴瀬コミュニティセンターホール
受講料：500円

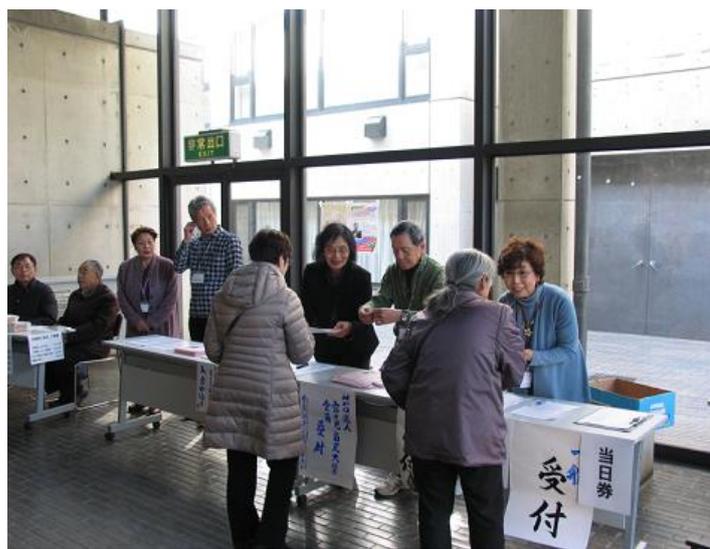


2月1日(土)2時から鶴瀬コミュニティホールを会場に開催。約150名。先生は4年前に「平穩死のすすめ」を出版。大いに論議をまき起しました。延命治療をしない。胃ろうを断る。高齢者本人が食べたいだけ、眠りを妨げず、最後は天寿を全うさせる。へえー、そんなことができるの？ 先生はできますときっぱり。

アンチエイジングを蹴飛ばし、古い、老衰当たり前でしょ。誰でも行く道です。

生きているうちから死を考え、生き方をしっかりと定める。先生の提唱する医療と介護の連携は、世田谷区芦花ホームから。スクリーンの高齢者の終末期を見ていると「穏やか死」が怖くなくなりました。優しい先生のお話を受講生は感激。

<看板と受付風景>



<講演舞台 全景>



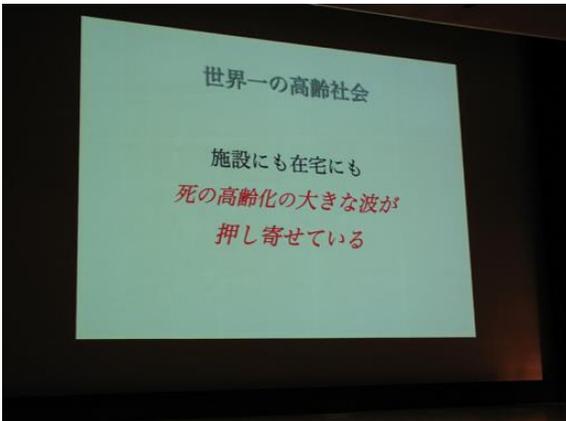
司会者 開会の辞 w/手話



大学理事長 挨拶 w/手話



<講演風景>



↑ 講演の切り口のキーワード

講演 w/手話



受講風景

↑ (舞台の左手から)

↑ (舞台の右手から)

<約150名。沢山の方が受講されました>

・・・多くの方に受講して頂き、スタッフとしては嬉しい限りです・・・



■ 受講者のアンケートから

受講された多くの方から記入をいただき、86枚を回収しました。
回答者中男性24人、女性62名で会場を見た感じでは、女性が圧倒的でした。
お住まいは市内が81名、市外が7名で、市民大学の案内、HPから催しを知った方が11名。ほとんどはポスター・チラシ、広報ふじみ、知人から。
年齢構成は40～50代3人、60代23人、70代55人、80代5人。
今回初めての受講は40人。
テーマから比較的、高齢の方に関心を持ってもらえたようです。
感想としては、お2人以外のほとんどの方から、大変参考になったという意見をもらいました。

今後の講演としては健康・病気、高齢化社会、地域コミュニティー、教養関係（歴史、環境）死後の世界、今後もこうしたユニークな主題での公開講座。外国の状況の紹介等

■ 寄せられてご意見から

- ・延命治療に疑問を持っていたが、医療側から動き出していることを、今日知りました。
- ・介護の勉強を済ませたばかりの者です。これからの仕事に生かしたい。
- ・貴重な良い企画である。ユニークなテーマで、先生のお話は年齢を感じさせない明晰さで感動した。人間の知恵に満ち溢れていた（ドイツの事例）とてもいい話であった。特に最後のDVDは涙が抑えられず！

<サイン会のスナップ写真>



<準備した販売用の本もすべて売れました。>
ありがとうございました。

■先生にエールを送りたい！ <報告者の感想>

医者の仕事を熱心にしてきた。社会貢献もしてきた。だが、老衰に関しては、結果的に本人の望みに応えていなかった。それを知った時から、社会制度の矛盾（病院と特養）や考え方（延命と自然死）を変えなければいけない。それを啓蒙したい！それが先生につくられた「平穏死」というキーワード。

非常に参考になった話であり、先生には社会変化が確実になるまで、もっともっと啓蒙して頂きたいと願うとともに、その努力・姿勢に拍手を送りたい。

先生、講演ありがとうございました。

・・・報告 K.K と S.H

以下、先生のプロフィールと著書です。

■先生のプロフィール



講師：石飛幸三 先生

講師プロフィール：

特別養護老人ホーム「芦花ホーム」常勤医。1935年広島県生まれ。1961年慶応義塾大学医学部卒業。外科学教室に入局後、1970年ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。1972年東京都済生会中央病院勤務。30年にわたって頸動脈内膜剥離術など血管外科の発展に寄与する一方、慶應義塾大学医学部兼任講師として血管外傷を講義。1993年東京都済生会中央病院副院長。2005年12月より現職。診療の傍ら、講演や執筆、メディアを通して、老衰末期の看取りの在り方についての啓発に尽力している。

■著書

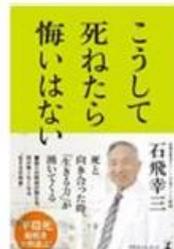
著書の紹介：



『「平穏死」のすすめ』
 (講談社文庫)
 石飛幸三 (著)
 470 円



『「平穏死」という選択』
 (幻冬舎ルネッサンス)
 石飛幸三 (著)
 880 円



『こうして死ねたら悔いはない』
 (幻冬舎ルネッサンス)
 石飛幸三 (著)
 1000 円



『看護の時代』
 (日本看護協会出版会)
 石飛幸三 (著)
 日野原重明 (著)
 川島みどり (著)
 1785 円